

(R7) ふるさと創生NPO連携促進事業実績

応募団体(構成団体)		事 業 名
主担当	団 体 名 (代表者)	
◎	NPO法人 福祉コミュニティKOUZAKI(稲生 亨)	◆事業名 神崎における多文化共生社会の実現 ◆目 的 豊かで持続可能な多文化共生社会の実現を目指す ◆概 要 ①外国人技能実習生対象へのアンケートの実施 ②外国人技能実習生と県内留学生との交流拠点づくり ③外国人技能実習生向けの視察ツアー及び研修会の実施 ④外国人技能実習生による休耕地での有効活用と地域との交流
	南日本造船協力事業協同組合	
	大分大学経済学部 三好禎之ゼミ	
	大分県インドネシア友好協会	
	株式会社 旭商	
中間支援	NPO法人 おおいたNPOデザインセンター	
◎	特定非営利活動法人 大分環境カウンセラー協会(杉浦 嘉雄)	◆事業名 「荒木川」における”持続可能な地域づくり”創造のための連携支援事業 ◆目 的 国東市安岐町に流れる「荒木川流域」の環境保全及び普及、福祉活動による”持続可能な地域づくり”先進地の創造 ◆概 要 ①フリースペース(旧老人福祉施設)の新たな整備と環境教材の整備と活用 ②フリースペースを活用した環境書籍・教材の補充と活用 ③荒木川沿いの緑地を活用した整備と環境福祉事業 ④その他の支援事業
	社会福祉法人 共生荘障がい者 サポートセンター三角ベース	
	荒木川流域プロジェクト実行委員会	
中間支援	NPO法人 おおいたNPOデザインセンター	
◎	NPO法人 子育て応援ワクワクピース(漆間 文代)	◆事業名 食を通じて多世代で支え合う循環型の地域づくり ◆目 的 赤ちゃんから高齢者までの多世代が関わり合い、支え合い暮らしていくためには、地域の生活弱者を一人も取り残さないための循環型の地域づくりを目的とする。 ◆概 要 ①生きづらさを地域で支え合う地域コミュニティーカフェ (近所で集まり、食事や茶話会などをして悩みごとの解消) ②地域でのフードドライブ・地域でフードパントリー (家庭や企業の余剰品を集め食材や生活用品の備蓄。配付) ③地域みんなの食堂 (定期的な食事支援として、誰もが食事できる地域食堂の開催)
	(一社)ライフカドル協会	
	(一社)わくわくスマイル	
	株式会社Linewood	
中間支援	NPO法人 おおいたNPOデザインセンター	

(R7実績) ふるさと創生NPO連携促進事業①

事業名 神崎における多文化共生社会の実現

事業実施団体 NPO×大学×企業×中間支援組織

- ・NPO法人福祉コミュニティKOUZAKI(主体)
- ・南日本造船協力事業協同組合
- ・大分大学経済学部 三好禎之ゼミ
- ・株式会社 旭商
- ・NPO法人おおいたNPOデザインセンター(中間支援)

事業実績

- ①外国人技能実習生を対象としたアンケートの実施
外国人技能実習生の悩みや希望を把握し、実情や課題を明確化。今後も継続。
- ②外国人技能実習生および県内留学生の交流拠点づくり
実習生・留学生と地域住民が交流できる場を設置。青年たちの居場所・憩いの場として、音楽会や交流会を開催予定。
- ③外国人技能実習生を対象とした視察ツアーおよび研修会の実施
日本の文化や社会を知る機会を提供するとともに、多文化共生への理解を促進。意見交換を通じて、外国人技能実習生が抱える課題も把握。
- ④外国人技能実習生による休耕地での有効活用と地域との交流
こうざきの休耕地で外国人技能実習生が望む耕作を実施し、地域住民との交流を促進。農業を通じて、日本の文化や食に触れる機会を提供。

補助制度活用効果

- ・日本での生活の課題把握により、今後、関係機関と連携し解決に取り組むための効果的なデータを収集することができた。
- ・母国を離れて暮らす方々の居場所・交流・憩いの場として活用する交流拠点を設置できた。
- ・休耕地での耕作は、技能実習生と地域住民がともに交流できる活動として、今後も農作物の販売や収穫祭など継続的に実施できる取組となった。

補助制度に対する評価・感想

- ・本制度を利用したことで、地域コミュニティとの交流をはじめとする地域の活力づくりにも繋がった。
- ・今後も継続的に事業に取り組みたい。



(R7実績) ふるさと創生NPO連携促進事業②

事業名 「荒木川」における”持続可能な地域づくり”創造のための連携支援事業

事業実施団体 NPO×社会福祉法人×中間支援組織

- ・特定非営利活動法人大分環境カウンセラー協会(主体)
- ・社会福祉法人 共生荘障がい者サポートセンター三角ベース
- ・荒木川流域プロジェクト実行委員会
- ・NPO法人おおいたNPOデザインセンター(中間支援)

事業実績

- 【事業】
- ①フリースペース(旧老人福祉施設)の新たな整備と環境教材の整備と活用
 - ②フリースペースを活用した環境書籍・教材の補充と活用
 - ③荒木川沿いの緑地を活用した整備と環境福祉事業
 - ④その他の支援事業

- ・外部の環境NPOと連携・協働することで、地域内に環境NPOがない場合でも、同等の機能を補完できることを確認できたほか、過疎化・高齢化が進む地域における、支援者不足の解決策として提示できた。
- ・荒木川流域プロジェクト実行委員会の活動内容や理念のほか、耕作放棄地や放置された里山林の一部を、地域における民間の力で再生できることを多くの地域住民に周知できた。
- ・「農・福・環」の連携に加え、環境福祉に関する様々な取り組みを実践できた。

補助制度活用効果

- ・事業実施団体三者の“信頼関係”がより深まった。
- ・補助制度の活用により、これまで以上に多くの地域住民が参画した。
- ・また、三者の目的でもある「環境福祉事業」の実践も、補助制度にて購入した資機材を活用し、効果的に実施することができた。

補助制度に対する評価・感想

- ・補助制度の趣旨や支援に大いに感謝。
- ・現在、他の補助制度にも積極的に応募・挑戦中であるが、今後も応募できる機会があれば、ぜひ再挑戦したい。



障がい福祉施設の利用者さんも参加できる
「環境図書館・自然観察コーナー」



「環境図書館・自然観察コーナー」での
野鳥教材活用の教え合い風景

(R7実績) ふるさと創生NPO連携促進事業③

事業名 食を通して多世代で支え合う循環型の地域づくり

事業実施団体 NPO×一般社団法人×企業×中間支援組織

- ・NPO法人子育て応援ワクワクピース（主体）
- ・一般社団法人ライフカドル協会
- ・一般社団法人わくわくスマイル
- ・株式会社Linewood
- ・NPO法人おおいたNPOデザインセンター（中間支援）

事業実績

①生きづらさを地域で支え合う地域コミュニティカフェ

多世代が集い、会話や読書を楽しむ場の提供。専門家の座談会を月4回程度開催し、希望者には個別相談を実施。

②地域でのフードドライブ・フードパントリー

家庭・企業から余剰食品や、リサイクル衣料品等を収集・備蓄し、必要な方へ無償提供。子育て世帯に加え、高齢者への支援や、行政からの紹介を通じた生活・食事の継続支援が増加。佐賀関火災発生時には、災害支援に活用。

③地域みんなの食堂

定期的な食事支援として地域食堂を開催し、平日は毎日、食堂での食事またはテイクアウト弁当を提供。子どもから高齢者まで多世代が利用。

補助制度活用効果

- ・広報活動を幅広く展開でき、これまで活動を知らなかった方々にも周知することができた。
- ・ひとり親家庭等の利用者に、金銭的な負担を求めることなく支援を提供できた。
- ・支援者への謝金を確保でき、活動回数や規模を縮小することなく、年間約9,000人に支援を届けることができた。

補助制度に対する評価・感想

- ・県内の団体が、地域課題に取り組むために活用できる有意義な制度だと評価。
- ・地域課題への理解に基づく、手厚い伴走支援により、安心して活動に取り組むことができた。
- ・行政の支援が行き届きにくい方々を取りこぼさない活動を継続したいが、利用者負担だけでは資金確保が困難であるため、今後も同様の制度を積極的に利用したい。

